

[oh]を「おお」と表記する言葉

お 大きい 多い 覆う O 雄々しい 公（おおやけ） おおらか
仰せ オオカミ オオバコ おおよそ

こ 氷 凍る コオロギ

と 十（とお） 遠い 通す

ほ 朴 頬 ホオズキ

漢字表記が「大」「多」「氷」「凍」「遠」「通」「十」「頬」などになる時は、「おお」の表記に。

旧仮名遣いで「ほ」を使っていたモノが多いのか？

公は、大宅から転じている。

オオカミは大神がモトになっているとか。

オオバコは大葉子と書きます。

コオロギは古保呂岐と表記されていたそうです。

ホオズキは頬づきがモトになっているとか。

辞書の並び順を見ていると、外来語の片仮名表記における長音符（ー）は平仮名に置き換えると「お」になるモノが多いようだが、文化庁の「外来語の表記」を見ると、外来語は片仮名表記とあるので、気をつけたい。

↓文化庁 外来語の表記のページ

https://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kijun/naikaku/gairai/index.html